

11月定例会

県議会を振り返る

◆代表質問から



いちむら じん 議員
【自由民主党】



あきやま まさひろ 議員
【民主・県民クラブ】



やまだ すいいちろう 議員
【公明党】

11月定例会は、11月30日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて12月22日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、予算案7件、事件案件19件、条例案4件、報告案件2件、人事案件1件の計33件でした。

また、議会提出の発議案は、「岡山県議会個人情報保護条例の一部を改正する条例案」など2件が可決されました。

12月3日には代表質問が行われ、市村仁議員(自由民主党)、秋山正浩議員(民主・県民クラブ)、山田総一郎議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、12月8日から10日までと14日の計4日にわたり17名の議員が一般質問を行いました。

一般質問を行った議員

12月8日(水)	12月9日(木)	12月10日(金)	12月14日(火)
渡辺 知典 須増 伸子 荒島 俊造 太田 正孝	本山 紘司 上田 勝義 小倉 博一 佐古 一太	中塚 周一 高原 俊彦 松島 幸一 乙倉 賢一 菅井 茂智	山本 雅彦 大塚 愛 河野 慶治 木口 京子
自 自 共 自 民 民 明 民	自 自 自 自 民 民 民 民	自 自 自 自 民 民 民 民	自 自 自 自 民 民 民 民

米価の下落対策について

Q コロナ禍により、令和3年度の主食用米は予想以上の需要低迷で概算金が大幅に下落し、農家の営農継続意欲は大きく減衰している。目に見えない支援策が必要だが、国の補正予算の活用を含め、どのような対策を進めるのか。

A 外食需要の減少により卸売業者などの在庫量が増加するなど、コロナ禍により米の需給環境が一層悪化したため、農家が来年の米作りに安心して取り組める環境を整えていくことが重要だ。需給安定に向けた国の長期・計画的な保管・販売支援と併せて、県では国の交付金を活用し、本年産米の在庫解消を図ること

地域交通を活用した観光振興策について

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により、バスや路面電車などの利用者は大きく減少している。地域交通は観光業などを支える重要なインフラであり、将来にわたる維持・確保が必要だ。来年度の岡山アステーションシヨンキャン(岡山SDC)の開催を控え、地域交通を活用した観光振興策を検討してはどうか。

A 岡山SDC本番に向け、タクシーで行くフルーツ狩りツアーやバスによる吉備路周遊など、地域交通と観光素材を組み合わせた企画を市町村などと連携して準備している。今後、企画を磨き上げ、広く情報発信するなど、より多くの方に地域交通を活用しながら、本県の魅力ある観光スポットを周遊していただけるよう取り組んでまいりたい。

令和4年度予算編成方針について

Q 厳しい財政状況の中、防災や医療など安心心の基本分野に影響が出ないようにしてほしいが、来年度予算編成における方針と、人口減少対策やカーボンニュートラル実現など、本県発展のため重点的に推進すべき施策の戦略について伺いたい。

A 事業のスクラップアンドビルドに取り組み、限られた財源を真に必要な分野や事業へ重点的に配分するなど、有効に活用してまいりたい。こうした考えに基づき、第3次晴れの国おかやま生き生きプランに掲げる取り組みを加速させるとともに、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた施策にも取り組み、本県の持続的な発展に結びつけてまいりたい。

(知事答弁)

(知事答弁)

(副知事答弁)

用語解説

カーボンニュートラル
二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。県では、県内の温室効果ガス排出量を令和12(2023)年度に平成25(2013)年度比で17.7%削減することを目標としている。

※排出量＝吸収量は人為的なもの

11月定例会議決結果

- 予算案 7件可決(7件中)
- 事件案件 18件可決(18件中)
- 1件認定(1件中)
- 条例案 4件可決(4件中)
- 報告案件 2件中
- 2件承認(2件中)
- 人事案件 1件承認(1件中)
- 1件承認(1件中)
- 委員会発議 2件可決(2件中)

テレビ番組のお知らせ

県議会では、議員が出演する議会広報テレビ番組(30分番組)を放送しています。定例会の代表質問の内容や県政に関する重要なテーマについて、幅広く議論します。過去の放送番組は、県議会のホームページで録画映像を配信(放送終了から1年間)していますので、ご覧ください。



県議会ホームページで公開中のテレビ番組 (令和4年2月現在)

放送日(令和3年)	タイトル
12月25日	11月定例会県議会を振り返って
12月12日	新しい教育を岡山から
10月24日	9月定例会県議会を終わって
9月19日	持続可能な地域づくり～人口減少問題を考える～
8月28日	災害への備えを
7月25日	6月定例会県議会を振り返って
3月28日	2月定例会県議会を終わって
3月13日	地域を支える産業振興

県

地域公共政策セミナー



県議会では、県政や議会運営に関する具体的な政策課題の解決に向けた立案を行うため、地域公共政策に関する今日的な課題の研究に取り組んでいます。

取り組みの一環として、認知症当事者のための相談窓口「おれんじドア」の丹野智文代表らを招き、「認知症とともに生きる人 家族とのパートナーシップ」と題してセミナーを開催しました。

39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野氏からは、その後の生活や認知症を理解してもらい取り組みなどを紹介していただきました。また、岡山県立大学保健福祉学部の佐藤ゆかり准教授らに加わってのパネルディスカッションでは、笠岡市と総社市の関係者による活動報告や施策の紹介をいただき、議員とも活発な意見交換を行いました。

今回のセミナーを受講した議員は、認知症サポーター養成講座の修了者となったほか、認知症への一層の理解を深めることができました。

引き続き、こうしたセミナーなどを通じて議員自身の政策能力を高め、議会そのものの充実・強化を図るとともに、県民の皆様からの、議会や議員への理解や信頼の向上に取り組んでまいります。

お知らせ

議会棟の耐震化整備に伴い、令和4年4月から11月(予定)まで議場と委員会視聴室の場所を変更します。

- 議場(本会議傍聴) <変更後> → 議会棟3階 仮議場
- 委員会視聴室(モニター視聴) <変更後> → 西庁舎2階

どなたでも本会議の傍聴や委員会のモニター視聴ができます。当日、議会棟1階で受け付けをしてください。※受付場所は現在と同じです。